

【2024年 参戦体制発表】

【2023年12月14日】

SDG昭和電機グループ(大阪府大東市 柏木健作CEO)と有限会社ハルク・プロ(東京都武蔵村山市 代表:本田光太郎)は、2024年に参戦するチーム体制を下記のとおり発表いたします。

2024年も、2023年同様にFIM アジアロードレース選手権とMFJ 全日本ロードレース選手権、そして2023年に2位表彰台を獲得したFIM 世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久ロードレース第45回大会(以下、鈴鹿8耐)に参戦いたします。そして全日本ロードレース選手権のJSB1000クラス以外のチーム名を「SDG Motor Sports RT HARC-PRO.」から「SDG Team HARC-PRO.」へ変更しSDG昭和電機グループと有限会社ハルク・プロが、これまで以上にワンチームになった事をアピールします。

FIM アジアロードレース選手権には、ASB1000クラスに國井勇輝を起用します。國井は2023年同シリーズ最終戦に参戦し、初参戦ながらレースウィークを通して自己ベストタイムを更新し続ける成長を見せてくれました。AP250クラスには、チーム新加入するJakob Sablaya(フィリピン)を起用します。チーム名は「SDG MS HARC-PRO.Honda Ph.」から「SDG Team HARC-PRO Honda Ph.」に変更となります。

MFJ 全日本ロードレース選手権には、JSB1000クラスに名越哲平と、ST1000クラスに國井勇輝を継続起用し、チャンピオン獲得を目指します。そしてST600クラスには、チームに新加入する濱田寛太を起用します。

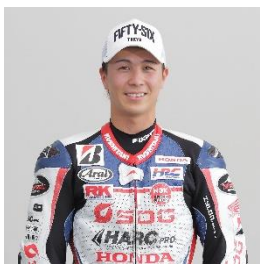
鈴鹿8耐に関しては、体制が決まり次第発表させていただきます。

【コメント】

■本田重樹 ハルク・プロ レース総監督

2024年度も全日本、アジアロードレースに参戦をし、チーム名が「SDG Team HARC-PRO.」に変わる事を嬉しく思います。全日本ロードレースの名越には2023年を上回る成績でぜひ優勝を目指してほしいし、出来ればランキング3位以内に必ず入るのが目標。國井は2023年にできなかった優勝はもちろん、年間チャンピオンも狙ってほしい。濱田は新人だが、若い時にアジアで頑張っていた選手。ST600は初めての参戦になるが、1年目は怪我をしないように上位を目指してほしい。鈴鹿8耐については参戦することは決まっているので応援をお願いします。ARRCに関しては、AP250では2023年は石井千優選手が走っていましたが、その石井に代わってフィリピン人の18歳ライダー・ジェイコブが初参戦します。ASB1000クラスには國井が全日本とWエントリーで優勝を目指して参戦します。皆様応援よろしくをお願いします。

名越哲平



國井勇輝



濱田寛太



Jakob Sablaya



2024年もSDG Honda Racingより継続参戦できる事を嬉しく思います。HARC-PRO.の一員になって10年目の節目のシーズン。そしてJSB1000クラス参戦4年目となり、勝負の年になります。まずは初優勝を目指して、チームと共にベストな仕事を全力で取り組みます。

来シーズン全日本ロードレース選手権のST1000、そしてアジアロードレース選手権のASB1000という2つのシリーズに参戦できる事をとても嬉しく思っています。チーム、そしてスポンサーの皆様にはとても感謝しています。来年は身体の状態含め万全な状態で戦って行きたいと思っております！

2024年シーズンをSDG Team HARC-PRO.より全日本ロードレース選手権ST600クラスに参戦できる事を大変嬉しく思います。新しいチーム、コース、バイクすべてにワクワクしています。そして、この気持ちを結果に繋げられるよう頑張りますので応援よろしくをお願いします。

私のライディングスキルで私の国に誇りをもたらすため、そしてホンダという名前を広めるため、来年SDG Team HARC-PRO Honda Ph.とともにAP250カテゴリーで、レースができる事をとても嬉しく思い、ワクワクしています。

<リリースのお問合せ先>
昭和電機株式会社
マーケティング統括部
072-870-5708